

# JAL争議の早期全面解決をめざす

## 11・29 東京西部決起集会参加のお願い

2022年10月11日

関係団体・労働組合・個人の皆さま

原発のない社会の実現と、JAL 不当解雇撤回  
をめざす東京西部連絡会（GJ 連絡会）  
共同代表 塚原 邦彦（東京西部全労協）  
鈴木 等（新宿区労連）

くらしと権利、平和と民主主義を守る活動への取り組みに敬意を表します。

JAL 争議は、乗員組合（JFU）とキャビンクルーユニオン（CCU）が会社提案の2年間の「業務委託」を受け入れることで争議終結に合意し、協定に調印しました。12年余にわたる争議に終止符を打ったこととなります。

一方、JAL 被解雇者労働組合（JHU23人）と、会社との解決協定を不十分としたJFU組合員の被解雇者14人は、闘争を継続するため同労組を離脱し、新たな道を歩み始めました。

JAL 争議は終わっていません。

JHUの闘いは東京都労働委員会で、団交拒否・不誠実団交に対する不当労働行為救済を求める審議に入っています。合わせて、解雇にいたる経過のなかで国交省は重要な役割を果たしており、それらも明らかにするため同省に団交開催を求めています。

また、JHUはJAL 支援共闘も含めて確認した解雇撤回、雇用保障、解決金の支払いなど「統一要求」実現を闘争の柱に立て、運動を進めています。JFUを離脱したみなさんは、たたかう新たな体制づくりを始めています。そして、JAL 争議を支援する東京集会が12月8日（木）18時30分／文京区民センターで行われる予定です。

この間、GJ 西部連絡会は、JAL 争議を支援する定例宣伝を継続してきました。

新たな段階にすすんだJAL 争議の早期全面解決をもとめて、東京西部地域のプレ決起集会を下記の日程で行います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

以上

—記—

◆と き／2022年11月29日（火）

18:00 開場 18:30 開会

◆ところ／四谷スポーツスクエア

B1 Y 会議室

東京都新宿区四谷1-6-4

☎03-6273-2651

